

高等学校1学年総合的な探究の時間学習指導案（全体計画）

1 単元名 防災教育

2 単元の目標

- (1) 自助・共助・公助の考え方を知る。
- (2) 防災及び減災について学び、日頃からの防災意識を高める。
- (3) インターネットを活用し防災グッズを学ぶとともに世代別防災グッズ選びを考える。  
(個人またはグループ学習で実施)

3 単元について

本単元は、2011年3月11日14時46分に発生した、「東日本大震災」を風化させないことを目的に、自助・共助・公助の考え方や、防災・減災についての考え方を学習し、実践力として生かせる資質・能力の育成に努めていく。特に、防災教育については、小学校・中学校・高等学校で、計画的な避難訓練を実施しており、身近な単元でもある。一方で、いつおきてもおかしくない災害に備えることも学習する。ここでは、事前学習として防災に関わる専門家の講話を交えた学習を行うこととする。

4 単元の評価基準

観点	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	<p>① 「自助」、「共助」、「公助」の考え方、「防災」、「減災」の違いを理解し、これらの知識が今後の生活で必要であることを理解している。</p> <p>② KJ法について理解している。</p>	<p>① 自助・共助・公助の考え方、防災・減災の違いを理解し、どのような地域でどのような取り組みを行っているかをデジタル端末を用いしらべまとめている。</p> <p>② グループ活動において、自らの考え、他者の考えを聞き、タブレットを用い根拠をもって、課題に取り組み解決を図ることができる。</p>	<p>① 自助・共助・公助の考え方や、防災・減災について、家庭や地域で実践できるよう、行動に移そうとしている。</p> <p>② 自らが主体となり、単元の活動を進めていこうとしている。また、疑問に思ったことについて質問等を行い理解を深めようとしている。</p> <p>③ 調べた防災グッズを、家庭で実践し、家族間の防災グッズの準備へと主体的につなげるようとしている。</p>

5 指導計画（全6時間）※グループワークの場合は、8時間を想定

時間	学習活動	注意事項
<p>1 時間目</p> <p>2 時間目</p>	<p>・ 自助・共助・公助の考え方を学ぶ。</p> <p>・ 防災に関わる専門家から防災について学ぶ（講話）。</p> <p>有効なコンテンツ（総務省消防庁動画3分22秒）  <a href="https://www.fdma.go.jp/relocation/e-ollege/cat63/cat39/cat22/4.html">https://www.fdma.go.jp/relocation/e-ollege/cat63/cat39/cat22/4.html</a>            （東日本大震災から学ぶ動画）</p> <p>・ 防災及び減災について学ぶ。</p> <p>有効なコンテンツ（政府広報オンライン）  <a href="https://www.gov-online.go.jp/tag_vertical/%E9%98%B2%E7%81%BD%E3%83%BB%E6%B8%9B%E7%81%BD/">https://www.gov-online.go.jp/tag_vertical/%E9%98%B2%E7%81%BD%E3%83%BB%E6%B8%9B%E7%81%BD/</a></p> <p>防災に関わるテーマでディスカッションを行い、全体で今日共有。講師の講評を得る。</p>	<p>事前に学習のめあてを講師と意見交換し、実態に即した防災教育を行う。</p> <p>左記動画は、7つのチャプターに分かれているため、学校のねらいに合わせて、視聴動画を増やすことも可能。</p> <p>左記動画は4つのチャプターに分かれており、1つ1つが短い動画となっているため扱いやすい。</p>
<p>3 時間目から</p> <p>5 時間目（7 時間目）</p>	<p>・ グループワーク</p> <p>世代別防災グッズ選び（100円ショップで揃える）            タブレットを活用し災害時に必要とされる防災グッズを考える。その際に、生成AI等も活用し根拠ともに調べていく            それぞれで調べたTOP5をランキングでまとめ、理由を示す（時間にゆとりがあれば、TOP10も可）</p> <p>有効なコンテンツ（ウェザーニュース動画39分32秒）  <a href="https://www.youtube.com/watch?v=2X3V6KjUdK8&amp;t=413s">https://www.youtube.com/watch?v=2X3V6KjUdK8&amp;t=413s</a></p> <p>&lt;まとめ方&gt;</p> <p>・ KJ法を用い、キーワードのグルーピングを行う（グループ学習の場合）</p> <p>・ パワーポイントを用いてまとめていく</p>	<p>&lt;ひと工夫&gt;</p> <p>個人で実施でも良いが、グループを編成し、世代別の防災グッズ選びをまとめさせることも可能。その際、何故それが必要か、理由とともに調べ学習を兼ねて実施することで、様々な世代で考えられる状況等を知ることができ、将来に生かすことも可能。</p>

<p>6 時間目 (8 時間目)</p>	<p>〔個人〕グループ内で発表する（適切な人数で編成） 〔グループ〕クラス内で発表する</p> <p>その後、リフレクション（学びの振り返り）を行う。</p> <p>※優れた作品については、校内に掲示またはSNS等で発信するなど、学校として防災教育を実施していることを内外的に広める取り組みを行うことも可能。</p>	<p>防災意識を高めるために、1年に一度は防災に関する情報を確認するよう指導する。</p>
--------------------------	--	---

※防災教育は、防災、現在、備蓄といった様々な切り口で指導を行うことができる。

学校の目指す防災教育に沿った形で実施しすることが望ましい。

※フィールドワークの1つとして、校内の防災防災マップ作りや、校外〇〇Mの防災マップ作りを行うこともできる。特に校外防災マップは作成後、地域の自治会に配布することで、地域との連携を図る期待ができる。

<防災グッズ選び完成例>

**20代をターゲットとした防災グッズ 5点の例**

<この商品を選んだ理由>

- ・避難所生活を前提とした防災グッズを考えた
- ・20代にフォーカスをあてているが、衛生面を解消するためのグッズを主に選んだ  
→過去の事例から入浴に関する課題があったことからその課題を解決する商品を選んだ（シャンプー、ボディタオル、手指消毒）
- ・アルミシートは保温の他、プライベートを確保することも期待できる
- ・共助、公助の観点で軍手、ロープ、笛のセットを選んだ

<必要と考えた5点>

①簡易保温アルミシート      ②ハンディシャンプー      ③アルコールジェル



③軍手、ロープ、笛      ④備蓄用ウェットボディタオル



※人により、必要なものは異なるため、予め自分自身の防災グッズを用意しておくことが良い  
備蓄品については、最低でも7日以上を用意しておくことが良いとされている

### 事前学習

- ・ 自助・共助・公助の考え方を学ぶ
- ・ 防災に関わる専門家から防災について学ぶ（講話）

### 体験学習

- ・ 世代別防災グッズ選び（100円ショップで揃える）  
（個人学習、グループ学習）

### 事後学習

- ・ 他者の発表をふまえ、どのような防災意識を高めるかを考える
- ・ 1年に一度は防災に関する情報を得て、自身の防災意識を高めるようにする

### 展開のポイント

- ・ 学校のある地域を複数の教員で分析し学校としての防災教育の在り方を決める
- ・ 地域との連携を兼ね、自治会の他、消防署との連携もあらかじめ図っておく

### さらにできること

- ・ 防災標語や防災ポスター等のコンクールに参加し、学年全体で防災意識を高める
- ・ 地域主催の防災訓練に参加をし、防災意識を高める
- ・ 優れた作品を冊子にし、来校者や自治会に配布することもできる  
（生成AIを活用しイラスト化し、ホームページに掲載することも考えられる）